



自然と生きものとの出会いを楽しむ場所 「涸沼水鳥・湿地センター」

ってこんなところ



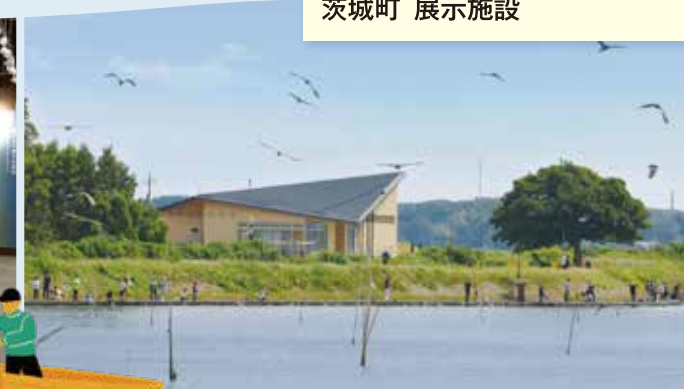
銚田市 観察棟



鈴の音テラス



茨城町 展示施設



銚田市みのわ水鳥公園



茨城町 展示施設

MAP E-3 茨城町下石崎2585-4

☎ 029-303-6530

営 / 9:00~16:30 入館無料

休 / 月(祝日の場合は営業、翌日休)・12 / 29~1 / 3

駐 / 50台 ※サイクルポート有

銚田市 観察棟

銚田市みのわ水鳥公園

MAP E-3 銚田市箕輪1754

☎ 0291-32-8443 駐 / 76台

「鈴の音テラス」

営 / 9:00~16:30 入館無料

休 / 月(祝日の場合は営業、翌日休)・12 / 29~1 / 3

公園部は24時間開放、年中無休

涸沼は、生きものの好きには魅力的な場所。涸沼水鳥・湿地センターでは、展示や観察を通じた学習に加え、野鳥や昆虫、水生生物の自然観察会、さらにはハゼ釣りなど、涸沼周辺でさまざまな体験学習やイベントを開催し、子どもたちに「大人になっても忘れられない経験」をしてほしいと考えています。センターを通じ、多くの方に涸沼の魅力を知っていただくと同時に、地域の方にはラムサール条約登録湿地として世界に認められた「涸沼」を改めて誇りに思ってもらえることを願っています。

「自然と共に学び

生きものとの出会いを楽しむ場所に」

ラムサール条約登録湿地ひめまの会事務局長

田口 眞一

「銚田市みのわ水鳥公園」

防災設備を備えた公園として整備された4万2297㎡の広大な敷地には、ピオトープや湿地ゾーン、遊具広場、芝生広場、多目的広場などがある。昆虫や野鳥の繁殖場所となるピオトープ・湿地ゾーンには約300mの木道が設置され、自然の中で生きものの営みを観察することが可能だ。遊具広場には高さ約5m×幅約10mの芝生の滑り台のほか大型複合遊具などがあり、週末は地域の親子連れでにぎわっている。公園内には、災害時に「かまど」となるベンチや防災四阿(あずまや)なども設置されている。公園部は施設が休館日でも利用可能だ。

「銚田市 観察棟」

銚田市の「鈴の音テラス」は野鳥の観察に特化した施設で、「望遠観察スペース」と「観察情報コーナー」を設置している。室内の窓際に望遠鏡を備え付けた「望遠観察スペース」では、天候を気にせず気軽に野鳥観察が楽しめる。涸沼周辺で見ることのできる野鳥の情報提供を行う「観察情報コーナー」は、野鳥ファン同士が情報交換できる交流の場でもある。ここを拠点として野鳥観察をするのがおすすめ。屋上には「展望スペース」もあり、涸沼が一望できるのも魅力。湖上で羽を休める水鳥や、シジミ漁の様子も見ることができる。管理棟では双眼鏡を無料で貸し出すほか、銚田市内や涸沼周辺の観光案内も行っている。

「茨城町 展示施設」

茨城町の展示施設では、涸沼の歴史や豊かな生態系、自然との共生などについて紹介している。涸沼の伝統漁業「シジミ漁」で使用している船や漁具の展示のほか、漁業体験ができる「コーナー」も設置。町指定の天然記念物「ヒヌマイトトンボ」の大型模型や水生生物が観察できる水槽など、工夫を凝らした展示で涸沼を楽しく学べる施設だ。学習の拠点として利用できる「レクチャールーム」と「ライブラリー」も併設。「見晴らしデッキ」からは、涸沼の景観をのんびりと楽しむこともできる。施設周辺にはヒヌマイトトンボが生息する貴重なヨシ原が広がっている。涸沼自然公園やキャンプ場も近く、ハゼ釣りやサイクリングなども楽しめるエリアで、子どもも大人も遊びながら自然を学べる環境が整っている。

水鳥も昆虫も植物も。
生きものたちのサンクチュアリ、
涸沼へようこそ。

国内12番目となる「水鳥湿地センター」が2024年秋、茨城町と銚田市にオープンした。両施設はそれぞれ涸沼の湖畔に立つ。ラムサール条約に登録された涸沼の自然や、涸沼に生息する動植物を観察・学習することができる。生きもの好きにはたまらない施設だ。